

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童通所支援事業所すだち			
○保護者評価実施期間	令和6年12月6日 ～ 令和7年1月24日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和6年12月6日 ～ 令和6年12月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月13日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	複合施設である為、高齢者との触れ合いや交流を図ることが出来ます。	感染症対策に気を付けながら、コミュニケーションを図れる場を提供しています。	季節に合わせた行事等関わりを増やしていけるよう、施設内での連携を図っていきます。
2	知的・発達障がい、学童の利用が難しいお子さま等、療育が必要なお子さま方が一緒に活動しています。利用時のスケジュールを一緒に考えたりと、お互いを理解しながら楽しめる環境となっております。	支援が必要なお子さまに対して、学校や家庭とは異なる時間、空間、人、体験などを通じて、個々の子どもの状況に応じた発達支援を行っています。	お子さま同士の関わりや体験をさらに増やしながら、お互いに理解し合い楽しめる環境づくりをしていきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	自宅送迎（送り迎え）を実施していない為、自宅送迎の要望にお応えすることが難しいです。	施設全体で車両を共有していることや、必要な支援時間を確保する事が難しくなるため、自宅送迎は難しい状況です。	学童クラブ等の協力を得ながら、少しでも送迎付きでの利用が出来るよう配慮していきます。
2	地域のお子さんとの関わりが少ない。	ボランティアの受け入れや、併設施設のこども園の児童、戸外活動時公園などで地域のお子さんと触れ合う機会を、感染症防止の対策等を考えながら実施する必要があります。	ボランティア受け入れや併設のこども園の児童を中心に増やしてまいります。
3			